

晴嵐館報

ご挨拶

公益財団法人に移行して1年が過ぎました。5月6日の理事会、6月9日の定時評議員会において、24年度の事業報告、収支決算が承認されました。本号に掲載の事業報告と収支決算は、紙面の都合で一部分です。ホームページには全部掲載しておりますのでご覧ください。

芸術と教育は表裏一体です。教育を忘れた芸術はありませんし、芸術を忘れた教育もあり得ません。この館報をはじめとして、競書誌『中道』『書芸中道』は「芸術と教育」の情報発信していくことをめざします。

硬筆の競書は、昭和44年(1969年)の『中道ペン友』を創刊してから、硬筆専門の競書誌として45年来刊行してまいりましたが、編集体制が変更となり、この度の6月号から毛筆と合本しました。この合併により、充実した硬筆毛筆一体の書道教育を進めるとともに、よりきめ細かな内容をめざしてまいります。

この時期は春季昇段昇級検定試験が行われています。一般の漢字・かな・硬筆、子供たちの毛筆・硬筆と、順次成績が発表されます。

鍊心講堂の銅葺き屋根が傷んできておりましたので、先般よりお願いしております寄附金により防水補修工事をおこないました。銅版の上に耐久性の高い碎石シートを張りました。頂上の鳳凰はいったん取り外し、永年の風雨によるボルトの緩みも見つかりました。

お知らせ

ご案内

晴嵐館企画展示(展示案内)
師範選抜書展
教室(毛筆・篆刻)
作品研究会
講習会
筆供養
書道催事支援事業
図書資料の貸出・閲覧
鍊心講堂の利用
硬筆かな用紙のご案内
展覧会お出かけガイド
事業結果報告

支援事業、作品の貸し出し

新入資料

第3回理事会

臨時理事会

第2回定時評議員会

平成24年度事業報告書

平成24年度損益決算書

寄付者リスト

寄附金募集

会員募集

名誉顧問

25年度入会申込者一覧

ご案内

晴嵐館展示室案内(企画展示)

「大池晴嵐の書～漢字かな交じり作品」

9月23日まで 木曜休館

晴嵐の肉筆を是非ご覧ください。墨色、筆勢、文字造型、余白の美は一品です。観覧料300円(9月23日は無料公開日)

師範選抜書展

7月2日(火)～7日(日)

名古屋市民ギャラリー栄 8階

大池晴嵐作品、中国曲阜拓本も展示します。

入場無料

教室案内(毛筆研究)

毎月第1・3・4土曜日 午前10時半～12時(都合により変更あり)

初心者から手ほどき検定試験、展覧会作品の指導もいたします。

定員 15名(現在余裕あります)

指導 大池青岑氏

受講料 4000円/月(展示室観覧料含む)

教室案内(篆刻研究)

毎月第3月曜日 午前10時～12時(都合により変更あり)

印稿作りと刻法を学習します。各自思い思いのこと

ばを方寸の石印材に刻し、印章を仕上げます。

定員 15 名 (現在余裕あります)

講師 岡野楠亭氏 (日展委嘱)

受講料 3000 円/月 (展示室観覧料含む)

日展 作品研究会

日展出品作品を 2～3 点お持ち寄りください。

8 月 4 日 (日)、9 月 1 日、8 日、15 日 (日)

午前 11 時～12 時

筆供養

7 月 15 日 (月) 午前 8 時厳修

晴嵐館庭園内 筆塚碑前

ご不用の筆、お寄せください。供養料は無料です。

書技上達、健康円満を祈願いたします。

筆の受付期間 7 月 1 日～14 日

書道催事支援事業

地域における書道催事に対し、公益財団法人晴嵐館後援名義使用・晴嵐館賞賞状交付・催事案内公告等をおこないます。地域団体・グループの書道展覧会、個展、書道イベント等の催事を支援します。

1. 催事の各種印刷物への「後援公益財団法人晴嵐館」名義使用
2. 晴嵐館賞の賞状交付
3. 催事案内として内容を機関誌および晴嵐館ホームページに掲載
4. その他・・・詳しくはお尋ねください

図書資料の貸出・閲覧

中国や日本の書道の名品名跡、字典辞書、実技技法書、理論書、その他美術文学にわたる書道の周辺の様々な図書文献約 4000 冊、映像資料等を、一般の図書館と同様に貸出します。館内での閲覧もできます。書道に関心のある方ならどなたでもご利用になれます。詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

新入図書のご案内

- 漢字字形の問題点 (野崎邦臣著 天来書院)
- 王羲之の手紙 (尾崎學著 天来書院)
- 王羲之喪乱帖 (高橋蒼石編著 天来書院)

錬心講堂の利用

書道に関する研究会等の集会などにご利用ください。

収容人員 約 40 名まで

利用料金 1000 円/時

詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

硬筆かな用紙のご案内

硬筆規定用紙のうち、一般部 A 課題のかな用として、かな用紙 (ケイ線なし) があります。ご利用ください。詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

展覧会お出かけガイド

道風記念館 企画展

「中国名碑拓本展Ⅱ」

6 月 14 日から 7 月 15 日まで 月曜休館

(電車) JR 中央線 勝川駅下車、タクシー 10 分

(車) 名二環上り線は松河戸 IC から 3 分、下り線は小幡 IC から 5 分

「和様の書」

東京国立博物館

7 月 13 日～9 月 8 日月曜休館

無料鑑賞券 3 枚、割引券 20 枚あります。(先着順 千 80 円) 晴嵐館までお申し込みください。

事業結果報告

支援事業ならびに作品の貸出し

東海書道藝術院が主催する「東海書道藝術院創立 60 周年記念 歴代会長副会長遺墨展」に大池晴嵐作品 2 点 (「般若心経」「紫芝瑤艸」) を貸し出した。会期は平成 25 年 4 月 9 日 (火)～14 日 (日) 会場は青柳堂栄サンシティーギャラリーまた、同展を後援し、事業支援した。

新入資料

大池晴嵐作品

1. 「白楽天詩 偶作」(屏風 昭和 15 年作) 1 点
2. 「心閒意適」(扁額) 1 点

3. 「般若心経」(軸 昭和 47 年作) 1 点
個人の方より上記 3 点ご寄贈いただきました。有難うございます。

平成 25 年 5 月 6 日 第 3 回理事会

第 1 号議案 平成 24 年度の事業報告書の承認について

第 2 号議案 平成 24 年度の計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び付属明細書、財産目録の承認について

第 3 号議案 監査報告

第 4 号議案 会員の承認について

第 5 号議案 諸規定の制定について

第 6 号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決議について

第 7 号議案 その他

平成 25 年 5 月 26 日 臨時理事会

第 1 号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決議について

第 2 号議案 その他

平成 25 年 6 月 9 日 第 2 回定時評議員会

第 1 号議案 平成 24 年度の事業報告書の承認について

第 2 号議案 平成 24 年度の計算書類(貸借対照表、正味財産増減計算書)及び付属明細書、財産目録の承認について

第 3 号議案 その他

平成 24 年度事業報告書(抜粋)

要 旨

公益財団法人へ移行した最初の事業年度が終了した。東日本大震災の発生から 2 年が経過したが、日本の社会・経済は、被災地の回復をはじめ、雇用不安、外交問題など、様々な課題をかかえている。このような状況の下、文化・芸術こそが日本社会や経済の下支えとなり得ると考える。平成 24 年度は次の 2 つの基本方針により事業を実施した。その活動の概況を以下報告する。

基本方針 1・・・書道文化の振興発展

大池晴嵐の書業を顕彰し、その作品の制作の場となった敷

地庭園を公開するとともに、書道関係資料の収集保存、調査研究、展示公開を行なうことにより、書道文化の振興発展に努める。

基本方針 2・・・書道教育者の育成

書道に関する講習会、資格認定、コンクール等を行い、書道に携わる者を育成し、もって書道芸術および書写道教育の発展を図る。

I 書道振興事業(公益目的事業 1)

1. 収集、保存および調査研究

(1) 作品等の収集

- 大池晴嵐 古書『精誠報國帖 行書篇』『楷書白詩青石』ほか(個人からの寄贈)
- 中国拓本 24 葉(個人からの寄贈)
- 衍古箋(絹本) 10 枚(菊屋商店から購入)

(2) 作品等の保存・補修

(3) 調査研究活動

- ① 収集作品および資料に関する調査研究
- ② 大池晴嵐の作品所蔵調査
- ③ 博物館の展示運営等に関する調査研究

- 愛知県博物館協会 職員研修会

日 時 平成 24 年 10 月 26 日(金)

場 所 中部大学民族資料博物館

テーマ 講演①「都市文化におけるミュージアムの役割」、講演②「中部大学・博物館について?みんぱくから民博へ?」および展示室視察

派 遣 1 名

- 愛知県博物館協会 三河地域研修会(保存・修復部門)

日 時 平成 25 年 2 月 19 日(火)

場 所 岡崎市美術館博物館

テーマ 「収蔵品を守るために」

派 遣 1 名

④ 博物館視察

- 「青山杉雨の眼と書」展レセプション

日 時 平成 24 年 7 月 18 日(水)

場 所 東京国立博物館 平成館

派 遣 1 名

- 「円山応挙展」開会式

日 時 平成 25 年 2 月 28 日(木)

場 所 愛知県美術館

派 遣 1 名

2. 展示、公開、貸出および刊行

(1) 作品等展示公開

① 常設展示

- 「晴嵐の書業」

② 特別展示

- 「青山杉雨作品とその周辺」

③ 企画展示

- 「晴嵐の書～一字書作品」

(2) 庭園の保全と公開

① 庭園保全

- 除草、除虫、清掃、剪定、植樹、土の入れ替え

② 庭園公開

(3) 作品等の貸出

- 平成 24 年 1 月 14 日～12 月 1 日

東海書道藝術院が主催する「歴代会長副会長遺墨展」の作品集写真撮影のため、大池晴嵐作品 2 点（「般若心経」「紫芝瑤艸」）を貸し出した。

- 平成 25 年 1 月 25 日～2 月 4 日

展示ケース 2 台を貸し出した。

II 書道育成事業（公益目的事業 2）

1. 書道教育者の育成、書道の資格を認定する事業

(1) セミナー事業

① 毛筆教室

日 時 毎月 3 回 土曜日 午前 10 時半～12 時

場 所 晴嵐館 錬心講堂

指 導 日展会友 大池青岑氏

② 篆刻教室

日 時 毎月 1 回第 3 月曜日 午前 10 時～12 時

場 所 晴嵐館 錬心講堂

指 導 山本碩齋氏（4 月）

岡野楠亭氏（9 月～3 月）

③ 書道教育講習会

- 小作品制作シリーズ かな小作品を書く

日 時 平成 24 年 8 月 1 日（水）午前 10 時～12 時 30 分

場 所 晴嵐館 錬心講堂

講 師 公益社団法人中部日本書道会顧問 倉重拝石氏

参加者 22 名

内 容 かなを書くために最も重要なのは紙である。かな作品を書くための心得、指導を受ける心得、かな書家を目指す

心得などを学習した。添削では、受講者が各自使用する筆が適したものかを確認した。

- 小中学生条幅実践シリーズ 条幅作品を書く

日 時 平成 24 年 8 月 24 日（金）午後 1 時～3 時

場 所 晴嵐館 錬心講堂

講 師 岐阜女子大学准教授 中根海童氏

参加者 10 名

内 容 大きな筆に墨を含ませて 30 センチ四方ほどの大きな字を書く。一度墨をつけたら一筆で一文字を書きあげる。筆の弾力を活かして筆圧の強い線を引くことを目指した。

④ 毛筆・硬筆錬成会

日 時 平成 24 年 9 月 23 日（日）午前 10 時～12 時
硬筆

午後 1 時～後 3 時 毛筆

場 所 晴嵐館 錬心講堂

講 師 （午前）羽根田菖風氏、志字一輝氏、（午後）寺田小華氏、竹内小逕氏、大池青岑氏、新田双桃氏

参加者 18 名（硬筆 11 名、毛筆 14 名、のべ 25 名）

⑤ 文房四宝講習会

日 時 2 月 11 日（月）午後 1 時から

場 所 晴嵐館 錬心講堂

講 師 筆墨商「玉泉堂」川村和男氏

題 目 「文房四宝 筆の歴史」筆についての講習

参加者 42 名

⑥ 書道師範研修会・交流会

- 師範会

2 月 11 日（月）、晴嵐館錬心講堂において晴嵐館認定書道師範を対象に会合を行った。

⑦ 作品鑑賞会

- 東京国立博物館で開催の「青山杉雨の眼と書」展の鑑賞

- その他の作品鑑賞・・・「古谷蒼韻展」（松坂屋美術館）「日展東海展」（愛知県美術館）「現代書道 20 人展」（松坂屋美術館）など

⑧ 書道教育相談

晴嵐館が主催する競書、検定試験、展覧会のほか、教室運営、技術学術等に関する相談を受け付けた。平成 24 年度は書道教育に関する 9 件の相談が寄せられ、電話等により対応した。

(2) 書道の資格認定

① 競書

- 一般対象 硬筆 毎月 1 回 20 日作品締め切り
- 学生対象 硬筆 毎月 1 回 20 日作品締め切り
- 一般対象 毛筆 毎月 1 回月末作品締め切り
- 学生対象 毛筆 毎月 1 回月末作品締め切り

② 検定試験・師範試験

● 一般毛筆昇段級検定試験・師範試験
 実施時期 春秋 2 回（漢字－4 月、10 月 かな－5 月、11 月）

対 象 一般

受験者数 春季漢字 411 名、春季かな 170 名、秋季漢字 414 名、秋季かな 160 名

- 硬筆昇段級検定試験・師範試験

実施時期 春秋 2 回（6 月、11 月）

対 象 一般、学生

受験者数 春季一般 160 名、春季学生 1476 名、秋季一般 143 名、秋季学生 1539 名

- 学生毛筆昇段級検定試験

実施時期 春秋 2 回（5 月、10 月）

対 象 学生

受験者数 春季 2535 名、秋季 2662 名

- 師範試験

(イ) 一般毛筆漢字師範試験（10 月）受験者数 31 名のうち 4 名合格

(ロ) 一般毛筆かな師範試験（11 月）受験者数 11 名のうち 1 名合格

(ハ) 一般硬筆師範試験（6 月、11 月）6 月の受験者数 19 名のうち 2 名合格、11 月の受験者数 20 名のうち 3 名合格

③ 審査編集

上記に関連して、作品審査並びに機関誌の編集作業を行った。

- 5 月 4 日（金）書芸中道春季漢字部検定試験審査
- 6 月 1 日（金）書芸中道春季かな部検定試験審査
- 6 月 5 日（火）中道春季検定試験審査
- 6 月 26 日（火）硬筆中道春季検定試験・師範試験審査
- 11 月 2 日（金）書芸中道秋季漢字部検定試験・師範試験審査
- 11 月 6 日（火）中道秋季検定試験審査
- 11 月 27 日（火）硬筆中道秋季検定試験・師範試験審査
- 11 月 30 日（金）書芸中道秋季かな部検定試験・師範試験審査

④ 段級位認定証の発行

【学生毛筆認定証】

春季 2535 件、秋季 2658 件 合計 5193 件

【学生硬筆認定証】

春季 1476 件、秋季 1539 件 合計 3015 件

【一般毛筆認定証（半紙漢字）】

春季 307 件、秋季 271 件 合計 578 件

【一般毛筆認定証（半紙かな）】

春季 118 件、秋季 98 件 合計 216 件

【一般毛筆認定証（芸術漢字）】

春季 104 件、秋季 116 件 合計 220 件

【一般毛筆認定証（芸術かな）】

春季 52 件、秋季 52 件 合計 104 件

【一般硬筆認定証】

春季 140 件、秋季 126 件 合計 266 件

師範位以外の認定証は各団体の教室において指導者より授与した。

⑤ 書芸中道・硬筆中道師範証授与式

日 時 平成 25 年 2 月 11 日（月・祝）午前 11 時

場 所 晴嵐館 錬心講堂

内 容 平成 24 年度毛筆漢字師範合格者 4 名、毛筆かな師範合格者 1 名、硬筆師範合格者 5 名に師範証を授与

⑥ 競書優秀作品展示

毎月の競書作品および検定試験受験作品の中から選ばれた最優秀作品（一般から学生まで、毛筆および硬筆の作品）を随時掛け替え展示し、書道を志す者の作品制作の指針とした。

2. 書道公募展事業（コンクール）

(1) 第 37 回 晴嵐館師範選抜書展

会 期 平成 24 年 7 月 10 日（火）～15 日（日）

会 場 名古屋市民ギャラリー栄 第 8・9 展示室（名古屋 栄 中区役所ビル 8 階）

出品者 指導者 110 名の選抜作品展示

入場者数 598 名

(2) 第 29 回中道書法展

会 期 平成 24 年 12 月 18 日（火）～24 日（月・休）

会 場 名古屋市博物館 3 階ギャラリー

対 象 一般から公募（15 歳以上）

応募点数 公募作品 57 点と委嘱作品 84 点

展示点数 応募作品 141 点、招待・賛助作品 3 点、特別展示 5 点の合計 149 点

入場者数 2472名

後援 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

審査会 平成24年11月11日(日)午後1時～3時

表彰式 平成24年12月24日(月・休)午後3時15分～45分、名古屋市博物館 地下講堂において65名を表彰
成績並びに優秀作品の公表 晴嵐館ホームページサイト、『書芸中道』1月号

(3) 第42回全国教育書道展

会期 平成24年12月18日(火)～24日(月・休)

会場 名古屋市博物館 3階ギャラリー

対象 幼年、小学生中高校から公募

応募点数 5914点

展示点数 入賞作品866点と招待作品4点の合計870点

審査会 平成24年11月4日(日)、12名の審査員により審査

表彰式 平成24年12月24日(月・休)、名古屋市博物館地下講堂において123名を表彰

賞品賞状授与 12月22日(金)～24日(月)の3日間は入賞者に賞品と書状を会場内で授与。

(4) 第30回中道書き初め展

会期 平成25年2月2日(土)

会場 布袋ふれあい会館 2階会議室(江南市布袋町359)

対象 幼年、小学生、中学生、高校生から公募

応募点数 2333点

展示点数 入賞作品444点に加え、30回を記念して、参考作品として第20回から29回展まで10年間の一席作品110点を特別展示

審査会 平成25年1月14日(月・祝)、10名の審査員により審査

表彰式 平成25年2月2日(土)、同会館2階会議室において61名を表彰

(5) 晴嵐館書道教室作品展

会期 平成25年3月17日(日)

会場 江南市民文化会館 1階展示室

対象 教室受講者ほか(一般、学生)

内容 一般書道(毛筆、ペン)、篆刻、こども学生書道の作品展示

出品者 一般書道57名、篆刻8名、こども学生書道81名

3. その他

(1) 図書資料等の貸出

● 貸出 2件。

(2) 筆供養

7月16日(月・祝)午前8時より筆供養を厳修した。
本年は96本の筆が広く一般から献納された。

(3) 賞状交付等(書道催事支援事業)

● 第45回碩山書院一門展に対し後援並びに晴嵐館賞10名表彰(9月)

● 第59回多度大社奉納書き初め大会に対し後援並びに晴嵐館賞20名表彰(2月)

(4) 施設の貸与

● 利用 1件

(5) 研究成果の公表(書道および書道教育に関する研究)

● 「禅語研究」名古屋大名誉教授 田島毓堂氏「書芸中道」に掲載

● 「千字文語釈研究」皇学館大名誉教授 野村茂夫氏「書芸中道」に掲載

● 「漢文研究」皇学館大名誉教授 野村茂夫氏「書芸中道」に掲載

● 「書論研究」愛知教育大学教授 木村大澤氏「書芸中道」に掲載

(6) 広報事業(情報公開・事業の情報提供)

① 機関誌『中道』『書芸中道』『硬筆中道』

● 「硬筆中道」469号～480号

発行 B5版24ページ 毎月10日 1960部/月(前年比+10部)

内容 硬筆書道研究、事業案内、審査結果掲載

対象 学生(幼年～中学生)、一般(高校生以上)

● 「中道」567号～578号

発行 B5版24ページ 毎月25日 2610部/月(前年比+70部)

内容 教育書道研究、事業案内、審査結果掲載

対象 学生(幼年～高校生)

● 「書芸中道」506号～517号

発行 B5版24ページ 毎月25日 770部/月(前年比-30部)

内容 芸術書道研究、事業案内、審査結果掲載

対象 一般(高校生以上)

② 館報

● 準備号 6月15日発行(150部)

● 第1号 8月15日発行(150部)

- 第2号 1月1日発行（150部）
- 第3号 3月15日発行（150部）
 - ③ ホームページサイト
- トップページ閲覧数は、3177件（前年度比+295件）（<http://www.geocities.jp/museiran>）
 - ④ 学びネットあいち
- 愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」を利用して、講座・講習会、イベント、資格、教材などの情報を発信した。
 - ⑤ NOPODAS
- 公益法人データベースシステム「NOPODAS」を利用して、基本情報、組織情報、事業内容、財務・会計、広報・お知らせ、寄附募集などの情報を発信した。
 - ⑥ 愛知の博物館お出かけガイド
- 愛知県博物館協会が運営する「博物館お出かけガイド」を利用して、展示案内の情報を発信した。
 - ⑦ 広報こうなん
- 江南市の広報誌「広報こうなん」にはたらきかけ、全国教育書道展の開催要項を掲載した。
 - ⑧ 尾北ホームニュース
- 中日新聞傘下の地域情報誌「尾北ホームニュース」にはたらきかけ、企画展示「青山杉雨の書とその周辺」の案内、全国養育書道展、書き初め展の地域入賞者名を掲載した。
 - ⑨ 中日新聞
- 中日新聞の後援を得て、全国教育書道展の成績を「中日新聞」朝刊の各地域版に掲載した。
 - ⑩ 書道美術新聞
- 書道業界紙「書道美術新聞」（美術新聞社）にはたらきかけ、師範選抜書展の出品者名、中道書法展の受賞者名を掲載した。

Ⅲ 物品の販売事業（収益事業1）

1. 書籍の販売（図書）
2. 教材用具等の販売
 - 硬筆規定用紙
3. 刊行物
 - 晴嵐館ブックレット1 『教育こぼればなし～教える心 育てる心～』（松川禮子著）

Ⅳ 管理部門

1. 理事会・評議員会・監査会

(1) 監査会

日時 平成24年5月5日（土）午前9時～12時

場所 晴嵐館 事務所

出席 監事2名 代表理事1名

内容 1. 公益移行認定についての説明

2. 監査の概要説明

3. 理事の業務執行状況の説明

4. 平成23年度事業報告書の説明

5. 平成23年度財務諸表および収支報告書の説明

6. 監事の意見聴取

7. 監査報告書署名捺印

(2) 第1回理事会

日時 平成24年5月6日（日）午後1時30分～3時30分

場所 晴嵐館 練心講堂

出席 決議に必要な出席理事の数3名、出席5名、欠席無し、監事出席1名

議事 第1号議案 平成23年度の事業報告書の承認について

第2号議案 平成23年度の計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）および付属明細書、財産目録の承認について

第3号議案 監査報告

第4号議案 業務執行理事の選定について

第5号議案 諸規定の制定並びに改定について

第6号議案 名誉顧問の承認について

第7号議案 定時評議員会の日時および場所並びに目的である事項等の決議について

第8号議案 その他（会員募集、寄附金募集）

(3) 第1回定時評議員会

日時 平成24年5月27日（日）午後1時30分～3時

場所 晴嵐館 事務所

出席 決議に必要な出席評議員の数6名、出席6名、欠席4名、理事出席1名

議事 第1号議案 平成23年度の事業報告書の承認について

第2号議案 平成23年度の計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書）および明細書、財産目録の承認について

第3号議案 「役員および評議員に対する報酬支給規定」の制定について

第4号議案 その他（理事会の報告、寄附金募集、会員募

集)

(4) 第 2 回理事会

日 時 平成 25 年 2 月 17 日 (日) 午後 1 時半～3 時半

場 所 晴嵐館 錬心講堂

出 席 決議に必要な出席理事の数 3 名、出席 5 名、欠席無し、監事出席 1 名

議 事 第 1 号議案 平成 25 年度の事業計画案について
第 2 号議案 平成 25 年度の収支予算書案、設備投資の見込みについて

第 3 号議案 会員の承認について

第 4 号議案 理事の職務の状況について

その他

2. 新しい寄附金税制と寄附金募集

- 4 月 1 日～6 月 6 日 2 件
- 6 月 7 日～12 月 31 日 14 件
- 1 月 1 日～3 月 31 日 140 件

3. 会員募集

- 維持会員 19 名、賛助会員 6 名であった。

4. 業務執行体制、内部管理体制

(1) 代表理事の業務執行

大池代表理事は、週に 3 日程度の間隔で業務の確認と執行をおこなった。業務内容は、事業事務、経理事務、管理事務、全般にわたり、2 月 17 日開催の第 2 回理事会において、自己の職務の執行状況を理事会に報告した。

(2) 業務執行理事の業務執行

5 月 6 日の第 1 回の理事会において、業務執行理事に松川良治理事を選定した。松川業務執行理事は、月に 3 回程度の間隔で業務の確認と執行をおこなった。2 月 17 日開催の第 2 回理事会において、自己の職務の執行状況を理事会に報告した。

(3) 職員

常勤職員は 3 名で、次のとおり役割分担をしているが、お互いにまたがるものについてはその限りではない。

- 管理担当・・・施設・設備・顧客・経理管理、指導・教育
- 庶務担当・・・事務・用務・文書・役員管理、厚生、事業
- 学芸担当・・・作品・資料・図書文献管理、調査研究、企画

(4) 非常勤事務職員 (パート 4 名)

非常勤職員の事務業務は次のとおり。接客・顧客管理・業者対応・金銭等収受・経理・データ入力・受付・準備・記録・整理・電話対応・文書管理・連絡・清掃・その他事務業務に発生するさまざまな業務にあたった。

(5) 非常勤専門職員 (審査・編集委員 15 名)

競書、検定試験の作品審査ならびに機関誌編集委員は次のとおり。各機関誌につき、毎月 1 回従事した。

- 大池青岑 (中道・書芸中道・校正・課題選定)
- 大池龍子 (中道・書芸中道)
- 大竹翠葉 (硬筆中道)
- 尾関陶山 (硬筆中道)
- 風岡五城 (硬筆中道・校正)
- 唐沢寛月 (硬筆中道)
- 志字一燦 (硬筆中道)
- 竹内小逕 (書芸中道・校正)
- 寺田小華 (書芸中道)
- 浪打靄舟 (中道)
- 新田双桃 (中道・書芸中道・課題選定)
- 羽根田菖橋 (硬筆中道)
- 羽根田菖風 (硬筆中道・課題選定)
- 山本晴城 (書芸中道・硬筆中道)
- 山本泉歩 (中道・課題選定)

(6) 教室講師は次のとおり

- 大池青岑 (毛筆教室 日展会友・中京大学教授) 4 月～3 月 (月 3 回)
- 岡野楠亭 (篆刻教室 日展委嘱) 9 月から 3 月 (月 1 回)
- 山本碩斎 (篆刻教室 朱泥印社主宰) 4 月 (月 1 回)

5. 福利厚生

職員の福利厚生および災害補償に対応するため、労働保険に継続加入した。

6. 団体加入

(1) 小牧法人会

5 月 25 日 (金)、小牧法人会が公益社団法人に移行した第 1 回の総会にあたり、今後の運営の参考とするため、職員を 1 名派遣した。

(2) 愛知県博物館協会

6 月 26 日 (火) 名古屋市科学館で開催の平成 24 年度愛知県博物館協会総会に、博物館相互の交流をはかるため、

職員を 1 名派遣した。

- (3) 江南市社会福祉協議会

7. 内部規定等の整備

- (1) 第 1 回理事会において、次の規定を制定・改定した。

- 「会計処理規程」(改定)
- 「寄付金規定」(制定)
- 「印章取扱規程」(制定)
- 「旅費規程」(改定)
- 「慶弔見舞規程」(改定)
- 「退職手当および功労金支給規則」(改定)
- 「職員の勤務時間・休日・休暇に関する規則」(改定)
- 「パートタイマー就業規則」(改定)
- 「蔵書貸出規程」(改定)
- 「書道催事支援事業要領」(制定)

- (2) 第 2 回理事会において、次の規定を制定・改定した。

- 「審査員委嘱規定」(制定)
- 「手本揮毫委託規定」(制定)
- 「賞状等揮毫委託規定」(制定)
- 「研究委託規定」(制定)
- 「施設利用要領」(制定)

8. 経理および税理士の関与

年度当初、前年度の決算書類等は代表理事が作成した。5 月 28 日、平成 23 年度の事業にかかる事業税(均等割)、消費税、名義変更等につき菱田純次税理士事務所(名古屋市昭和区)を通じて小牧税務署、西尾張事務所、江南市役所に申告し納税した。源泉税の年末調整は、e-TAX を利用して書類作成、データ送信した。

また、24 年度中の経理伝票の作成と経理データの入力には主に非常勤職員が日々担当し、固定資産の運用と管理、次年度の予算書類作成、税理士への中間報告は代表理事が担当した。

資産を健全に管理するため、取引銀行を 2 行増やした。金融機関の破綻に対応するため、財産目録に記載のとおり基本財産預金ならびに特定資産預金を分散した。

取引金融機関は次のとおり

- 大垣共立銀行 江南支店
- 岐阜信用金庫 東江南支店
- 三菱UFJ 信託銀行 名駅支店

- ゆうちょ銀行

また、今年度新たに次の金融機関に口座を開設した

- 三菱東京UFJ 銀行 江南支店(平成 24 年 1 月 28 日)
- 三井住友銀行 名古屋駅前支店(平成 25 年 1 月 4 日)
- JA 愛知北 布袋支店(平成 25 年 1 月 8 日)

9. 特定資産等の管理

平成 24 年 4 月 20 日、岐阜信用金庫東江南支店(江南市今市場町)と貸金庫の契約をした。土地・建物に関する書類、銀行定期預金通帳等の安全な保管場所として利用することとした。

10. 登記

公益財団法人への移行ならびに役員登記の手続きは、4 月 1 日が日曜日であったが、特例により受付が行われ、丸山洋一郎司法書士事務所を通じて名古屋法務局に申請を行った。

4 月 10 日付けで登記事項証明書を取得した。

11. 行政庁への報告

平成 23 年度の事業報告(事業報告書、決算書類)は、平成 24 年 5 月 31 日付で、旧主務官庁の愛知県教育委員会へ提出した。

公益財団法人となつてからの初めての定期提出書類となる平成 25 年度事業計画書は、予算とあわせて 10 月ころから準備策定し、2 月 17 日の第 2 回理事会に諮った。3 月 1 日、事業計画書類を公益法人インフォメーションのシステムから電子提出した。

12. 建物(晴嵐館、錬心講堂、その他)の管理

(1) 防犯・防火

セコム株式会社とセキュリティー契約を継続し、休日および夜間の外部からの侵入報知、火災報知による防犯防火を図った。

(2) 施設の補修

事業等に使用する資料・器具を保管する倉庫が、長年の地盤沈下により歪み・扉の開閉・施錠がしづらくなっており、基礎部分の補修を行なった。

本館は築 40 年を経過する。長年の太陽熱および風雨にさらされ、2 階屋根の明り取りドームが破損し雨漏り状態

となったため補修を行なった。

(3) 井戸水の水質検査

晴嵐館の飲料水等の供給は井戸によっている。地下 150メートルの地下水をポンプで汲み上げている。1月11日、江南市保健所を通じ、一宮保健所による水質検査を受けた。検査項目は、水質基準項目 50 項目のうち次の 9 項目。一般

細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物 (TOC の量)、pH 値、味、臭気、色度、濁度。いずれも適合であった。

(4) 施設の美化

社団法人江南市シルバー人材センターと清掃等業務の契約を継続し、施設および庭園の美化を図った。倉衛工業によりトイレ浄化槽の汲み取りを行った。

平成 24 年度 損益決算書 平成 24 年 4 月 1 日～25 年 3 月 31 日まで

科 目	公 1	公 2	公共通	公小計	収 1	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常収益							
① 基本財産運用収入							
基本財産利息収入			35,386	35,386		3,077	38,463
土地使用料収入				0		4,500	4,500
② 特定資産運用収入							
特定資産利息収入			128,749	128,749		64,374	193,123
③ 会費収入							
維持費収入			1,064,333	1,064,333		2,128,667	3,193,000
賛助費収入			16,667	16,667		33,333	50,000
④ 事業収入							
展示品観覧料収入	89,500			89,500			89,500
競書出品料収入		17,566,550		17,566,550			17,566,550
検定試験受験料収入		6,982,500		6,982,500			6,982,500
展覧会出品料収入		4,519,490		4,519,490			4,519,490
セミナー事業収入		631,100		631,100			631,100
研修会鑑賞会参加料収入		87,400		87,400			87,400
建物使用料収入		1,000		1,000			1,000
物品販売等事業収入				0	596,200		596,200
⑤ 寄付金収入							
寄付金収入			285,600	285,600		285,600	571,200
⑥ 雑収入							
受取利息収入				0		512	512
雑収入				0		3,750	3,750
事業活動収入計	89,500	29,788,040	1,530,735	31,408,275	596,200	2,523,813	34,528,288
2. 経常費用							
役員報酬支出				0			0
給料手当支出	217,064	3,690,084		3,907,148	20,000	434,127	4,341,275
臨時雇賃金支出		3,198,267		3,198,267			3,198,267
旅費交通費支出	38,700	613,400		652,100		33,080	685,180
福利厚生費支出				0		9,440	9,440
通信運搬費支出	2,926	1,164,467		1,167,393		2,926	1,170,319

消耗什器備品費支出				0			0
消耗品費支出		483,303		483,303		7,571	490,874
印刷製本費支出		11,777,767		11,777,767	231,787		12,009,554
賃借料支出	7,296	346,565		353,861		10,944	364,805
施設修繕費支出		133,690		133,690		14,854	148,544
備品修繕費支出				0		0	0
光熱水費支出	18,391	312,643		331,034		36,781	367,815
保険料支出	67,365	53,892		121,257		13,473	134,730
諸謝金支出		113,383		113,383		350,000	463,383
調査研究費支出		80,500		80,500			80,500
審査料支出		295,000		295,000			295,000
保守費支出	190,050	152,040		342,090		38,010	380,100
施設管理費支出	36,000	612,000		648,000		72,000	720,000
租税公課支出				0	1,800	71,000	72,800
支払助成金支出		210,000		210,000			210,000
作品表装料支出	50,000	562,792		612,792			612,792
会場設営費支出		3,020		3,020			3,020
資料費支出		11,760		11,760			11,760
表彰費支出		1,654,105		1,654,105			1,654,105
交際費支出		5,417		5,417		10,833	16,250
慶弔費支出		6,667		6,667		13,333	20,000
寄附金支出				0		2,000	2,000
諸会費支出	10,000			10,000		4,000	14,000
広告費支出	2,691			2,691			2,691
図書費支出		90,060		90,060			90,060
会議費支出		296,977		296,977		32,000	328,977
原稿料支出		1,352,900		1,352,900			1,352,900
揮毫料支出		92,200		92,200			92,200
庭園管理費支出		148,173		148,173			148,173
支払手数料支出		78,883		78,883		4,152	83,035
仕入れ支出				0	184,145		184,145
減価償却費	371,464	297,171		668,635		74,292	742,927
退職給付費用	15,000	255,000		270,000		30,000	300,000
雑支出				0			0
経常費用計	1,026,947	28,092,126	0	29,119,073	437,732	1,264,816	30,801,621
当期経常増減額	△ 937,447	1,695,914	1,530,735	2,289,202	158,468	1,258,997	3,726,667

公 1 は事業報告の公益目的事業 1、公 2 は同事業 2、収 1 は収益事業

寄附者リスト（寄附順）

25 年 1 月 1 日～6 月 15 日まで

名古屋ハウコドウ様、中井治泉様、舟木泰風様、渡

邊京子様、松島元様、三浦浮舟様、奥坂董徑様、能仁砂千子様、橋詰清子様、足立雪月様、東海書道藝術院様、硬筆中道編集委員様、和田吟水様、土屋桂

華様、遠藤光子様、松岡華泉様、小林夕月様、江口清翠様、金澤秀鴛様、山内香霖様

この度はご寄附を賜り、誠に有難うございます。寄附規定にございますように、3分の1以上は公益目的事業に使わせていただきますとともに、錬心講堂屋根補修の費用に充てさせていただきます。

第 2 期 寄附金募集

晴嵐館錬心講堂（築 30 年）の屋根を補修しました。皆様方からのご芳志をお願い申し上げます。

寄附金の振込先

郵便振替口座 00850-1-45233 晴嵐館まで

※晴嵐館へ寄附されますと、確定申告時に所得控除を受けることができます。「寄附金受領書」と「寄附控除に係る証明書」は、年明けにお渡しいたします。詳しくは税務署または税理士にお尋ねください。

平成 24 年度入会申込者

維持会員

木村桃水、浪打靄舟、長谷川幽岱（入会順、敬称略）

賛助会員

橋詰清子（入会順、敬称略）

ご入会有難うございます。平成 25 年 1 月 1 日から 3 月 31 日までにお申し出のあった方々です。5 月の理事会で承認されました。

平成 25 年度会員

名誉顧問

大池千尋、大池廣、豆子実（甲水之）（50 音順、敬称略）

維持会員

江口清翠、金澤秀鴛、土屋桂華、山内香霖、山本香風（50 音順、敬称略）

会費ご納入有難うございます。（平成 25 年 4 月 1 日から 6 月 15 日まで納分）

平成 25 年度新規入会申込者

新規ご入会申し込み有難うございます。

維持会員

新家峰石、和田吟水、藤原明美（新規入会順、敬称略）

平成 25 年度 会員募集（新規・継続）

- 維持員会費 年額 1 口 12,000 円（晴嵐館の目的・事業に賛同する個人）
 - 賛助員会費 年額 1 口 10,000 円（晴嵐館の事業に賛助する個人または書道関連団体）
- ※会費の 3 分の 1 以上を公益目的の事業に使用します。

役員名簿（◎＝代表理事 ○＝業務執行理事）

評議員	大池圭子	尾関茂夫	佐藤孝憲
	佐分力夫	田島毓堂	野木森雅郁
	波多野美也	森 邦明	安田文吉
	山本 真		
理 事	石川浩一	◎大池茂樹	風岡正明
	滝 尚文	○松川良治	
監 事	片山泰宏	山内康男	

公益財団法人 晴嵐館

〒483-8187 愛知県江南市大海道町青木 22 番地

TEL&FAX 0587-56-3170

E メール museiran@ybb.ne.jp

ホームページ www.geocities.jp/museiran

晴嵐館情報QRコード



ホームページ・メールアドレス・住所・地図が登録できます。